

<b>学校教育目標</b>	○主体的な学びを創り出します。 <知>				
	○豊かな心と健やかな体を育みます。 <徳・体>				
○よりよい社会を築く力を養います。 <公・開>					
<b>学校概要</b>	創立 48 周年	学校長 坂井 雅代	副校長 笹嶋 千春	2 学期制	一般学級： 12 個別支援学級： 2
	児童生徒数： 447 人		主な関係校： 下田小学校・駒林小学校		

<b>教育課程全体で 育成を目指す資質・能力</b>	<b>日吉台西中 ブロック</b>	<b>小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</b>
○ 自己実現に向けて自らを振り返りながら粘り強く取り組む力 ○ 他者や社会との関わりを大切にし、協働して課題解決するためのコミュニケーション能力	日吉台西中学校 下田小学校 駒林小学校	○ 自ら学び、互いに高め合いながら、協働的によりよい社会を築こうとする子ども  【日吉台西中ブロックテーマ】 ～9年間の学びの連続性・継続性を踏まえたカリキュラム・マネジメント～ ○ 思考力・判断力・表現力等の育成と小中一貫の質の向上を目指して、小中授業参観と合同研究協議等を実施し、ブロックテーマについての共通理解を図ります。 ○ 小学6年生を招いて行う、生徒会本部役員会による中学校生活ガイドンサや、土日を使った部活動体験等、児童と生徒が交流できる場面を作ります。

<b>中期取組目標</b>	○ 学校教育目標を実現するために、積極的・創造的な教育活動を推進します。 > 基礎・基本の定着と思考力・判断力・表現力を高める授業作りを推進し、主体的に課題解決に取り組む生徒の育成を図るため、授業改善に関する研究・研修を継続します。<知・体> > 学級や学年、部活動等多様な集団において、他者との様々な触れ合いや体験的な学習を通して規範意識やコミュニケーション能力を育み、健やかで心豊かな生徒の育成を進めます。<徳・公> > 地域等とのかかわりを通して、その生き方に学び、自分自身の進路を開拓していこうとする体験的な学習の充実を進めます。<徳・公> > 家庭・地域・小中一貫教育推進ブロック等と連携し、情報発信をすすめ、信頼される学校づくりを進めます。<公・開>
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 生きてはたらく知	①全教科を通して個に応じた指導を展開し基礎学力の定着強化を図ります。 ②グループ学習や課題解決学習を通して思考力・判断力・表現力等の育成を図ります。 ③行事などを通して、主体的に探究活動に取り組む姿勢を育てます。 ④授業づくりアンケートを実施し、その結果を分析して授業改善を図ります。
<b>徳</b> 豊かな心	①生徒の実態と発達の段階を考慮しながら、道徳の授業計画・指導計画を立て、指導方法を工夫して効果的な学習を進めます。 ②人権教育の推進のために職員研修の充実を図り、人権講演会や人権作文に全校で取り組みます。 ③ブロック内の二つの小学校と連携を図りながら、系統性や継続性のある人権教育の推進を図ります。 ④生徒会活動や行事運営を通して、主体的・実践的な活動ができる生徒の育成を目指します。
<b>体</b> 健やかな体	①保健体育科単元を通して体力向上を図ることに重点をおき、自己の課題解決力を身に付けられるようにします。 ②体力・運動能力調査の結果分析等に基づき「体育・健康プラン」の改善を図ります。 ③保健体育で学習したことを基に、自らの健康や安全を自ら守ることのできる生徒の育成を目指します。 ④2年目の食育推進校として、食に関する指導を通して、障害にわたる健康を考えることのできる生徒の育成を目指します。
<b>公 開</b>	①「横浜の時間」の理念に基づいた校外学習・キャリア教育・学校行事などの取組をより一層進めます。 ②課題学習への取組を通して、主体的に学ぶ力を身に付けられるようにします。 ③地域について学びを深めたり地域の行事等に参加したりする中で、社会や地域でよりよく生きる力を培います。
<b>いじめへの対応</b>	①Y-Pアセスメント・アンケートの活用、定期的な教育相談や日々の丁寧な相談活動の充実、スクールカウンセラーの効果的な活用を図り、課題や問題の早期発見、早期対応、早期解決に努めます。 ②日々の学級経営や横浜プログラムの実践等を通し、自己肯定感や他者への思いやりを育む支援を行います。
<b>人材育成・ 組織運営(働き方)</b>	①キャリアステージに応じた目標設定を行い、目標の実現を目指して研修・実践を行い、次のステージにつなげます。 ②課題をいじめ校務分掌を中堅以上の職員と若手職員による組み合わせで担当し、校務のマネジメントや実務に取り組む活動を通して育成し能力を高めます。 ③校内グループウェアを有効活用し情報の共有を速やかにし、仕事の合理化を図り、働き方改革を進めます。
<b>環境教育</b>	①定期的な安全点検と迅速な修理修繕を行い、事故の未然防止を図るとともに、学習環境・教育環境を整えます。 ②生徒会活動と連携した環境活動の推進を進めながら、SDGsへの関心をもたせる。
<b>地域連携・ 学校運営協議会</b>	①説明会や懇談会を活用し、学校と保護者・地域の方々との相互理解に努めます。 ②学校便りやHPを活用し、情報を積極的に発信します。総合的な学習の時間等における地域人材を活用します。 ③可能な範囲で地域の行事に参画します。学校運営協議会における学校関係者評価等もふまえ、地域とのつながりや連携を大切に教育活動を推進し、総合的な学習の時間等において地域人材を活用します。
<b>特別支援教育</b>	①アセスメントを丁寧におこない、一人ひとりの実態に即した支援の計画と実践に努めます。 ②専門機関や保護者との連携等を含め、学校チームとしての支援の力を高めます。 ③特別支援教室における支援について学校チームで検討し、生徒の実態と目標に応じた支援の充実を図ります。
<b>生徒指導</b>	①互いの人権を尊重し、思いやりのある生徒の育成を図り、ぬくもりのある生徒支援の実践に努めます。 ②アセスメントや教職員間の情報共有を大切にし、チームとして組織的に指導・支援に取り組みます。 ③多様な集団活動において関わり合う場面を大切にし、ポジティブ支援を通して自己肯定感や課題解決能力を高めていきます。